

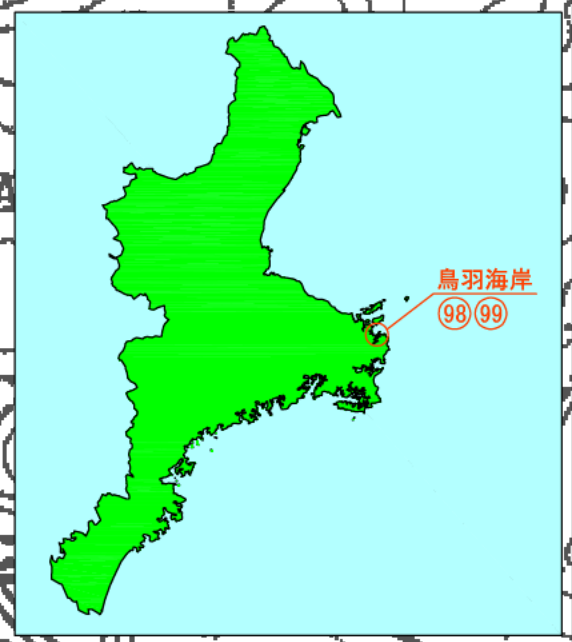
麻生の堤
浦村地区 今浦地先
L=1970m

浦村地区 本浦南地先
L=2266m

凡例

耐震点検結果	堤体の危険度	<table border="0"> <tr> <td>■ (Blue)</td> <td>A</td> <td>↑</td> <td>低</td> </tr> <tr> <td>■ (Yellow)</td> <td>B</td> <td>↓</td> <td>中</td> </tr> <tr> <td>■ (Red)</td> <td>C</td> <td>↓</td> <td>高</td> </tr> </table>	■ (Blue)	A	↑	低	■ (Yellow)	B	↓	中	■ (Red)	C	↓	高
	■ (Blue)	A	↑	低										
■ (Yellow)	B	↓	中											
■ (Red)	C	↓	高											
地盤の液状化	<table border="0"> <tr> <td>--- (Brown)</td> <td>A</td> <td>↑</td> <td>可能性低</td> </tr> <tr> <td>--- (Cyan)</td> <td>C</td> <td>↓</td> <td>可能性高</td> </tr> </table>	--- (Brown)	A	↑	可能性低	--- (Cyan)	C	↓	可能性高					
--- (Brown)	A	↑	可能性低											
--- (Cyan)	C	↓	可能性高											
天然海岸等、海岸保全施設以外で防護されている区間		— (Grey)	耐震点検対象外											

海岸保全施設の危険度を評価するために用いた地震力（設計震度）は、75年に1回程度発生する可能性のある地震を基に設定しています。気象庁の発表する震度階級では、概ね震度5強～6弱となります。
 なお、東海・東南海・南海地震のような巨大地震（数百年に1回発生する地震）を想定したものではありませんので、巨大地震に対しては、本判定で危険度が低いと評価された施設についても十分注意してください。



500m